

一般社団法人日本地質学会
第123年学術大会 市民講演会

ジオハザードと 都市の地質学

入場無料
事前申込不要

2016年9月11日(日)
14:00~16:30
日本大学文理学部3号館2階

「首都圏と火山」

日本大学文理学部教授 高橋正樹

「首都圏の地形地質の特徴」

アジア航測株式会社 千葉達朗

一般社団法人日本地質学会では、毎年学術大会に合わせて、
一般向け市民講演会を開催しております。今年は首都圏の防
災がテーマです。皆様どうぞご参加ください。

同時開催

地質情報展2016とうきょう
首都をささえる大地のしくみ

9月10日(土) 10:00-17:00
9月11日(日) 10:00-17:00
9月12日(月) 10:00-16:30

日本大学文理学部3号館

問い合わせ先:
一般社団法人日本地質学会
www.geosociety.jp
main@geosociety.jp
tel: 03-5823-1150
fax: 03-5823-1156

一般公開シンポジウム

みんなで考えよう、都市ハザードから放射性廃棄物問題まで — 科学技術と社会科学の融合 —

(Thinking Together Issues from Urban Hazards to Radioactive Waste:
An Integration of Scientific Technology and Social Sciences)

主催：日本大学文理学部自然科学研究所
共催：日本地質学会 日本地質学会S1シンポジウム

出入り自由
どなたでもご来場いただけます。

9月10日(土) 企業編(Ⅰ部:9:00-12:30)

第Ⅰ部

9:00-9:30 空中物理探査の自然災害への適用

北原哲郎・結城洋一(応用地質)

9:30-10:00 遠隔操作によるマルチクローラ型無人調査ロボットの開発

上條宏明・南澤孝太・小柳栄次(大林組)

10:00-10:30 災害リスク情報と防災まちづくり

寺脇 学(八千代エンジニアリング)

10:45-11:15 沿岸海底下処分における考慮事項

河村秀紀・Chapman Neil(mcm japan)

11:15-11:45 海水準変動を考慮した淡塩密度流解析

菱谷智幸・前村庸之(ダイヤコンサルタント)

11:45-12:30 総合討論(第Ⅰ部)

会場：日本大学文理学部
3号館 3206教室

9月11日(日) 研究編(Ⅱ部:8:45-11:45 / Ⅲ部:15:00-17:45)

第Ⅱ部

8:45-9:15 東京直下地震災害とそれへの備え

平田 直(東京大学)

9:15-9:45 東京の都市地質と地震災害

木村克己(防災科学技術研究所)

9:45-10:15 地すべりと都市ジオハザード

佐藤 浩(日本大学)

10:15-10:45 地質記録を都市型津波災害の低減に活かす

藤原 治(産業技術総合研究所)

10:45-11:15 災害情報の社会的機能

中森広道(日本大学)

11:15-11:45 総合討論(第Ⅱ部)

第Ⅲ部

15:00-15:30 原発事故と都市ジオハザード

竹内真司(日本大学)

15:30-16:00 地層処分と地下環境—自然に学ぶ現象とその応用—

吉田英一(名古屋大学)

16:00-16:30 放射性廃棄物処分の社会的側面に関する研究

小松崎俊作(東京大学)

16:45-17:45 総合討論(第Ⅲ部)

ACCESS

京王線下高井戸駅
または桜上水駅下車徒歩10分



キャンパス内には駐車場がございませんので、
お車での来場はご遠慮下さい。